

# Tibet Heritage Fund

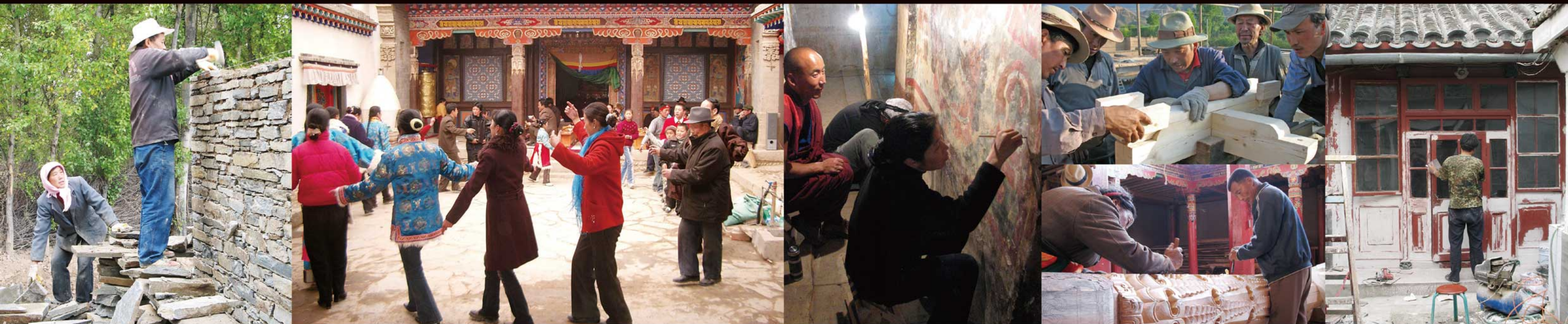
チベット ヘリテイジ ファンド





# Tibet Heritage Fund について

多様な国籍のメンバーと支援者で構成されるチベット ヘリテイジ ファンドとは、どこでどのような活動をしているのか



チベット ヘリテイジ ファンド(略称THF)は文化遺産の保護と振興において国際的な理解と協力を促進することを活動目的とした組織です。ドイツ・ベルリンおよび香港にて非営利組織(NPO法人)として登録され、多様な国籍のメンバーと支援者で構成されています。

1996年から現在に至るまで、チベットのラサにおける歴史的建築物の修復活動に始まり、チベット自治区、四川省、青海省、北京、インドのラダック、シッキムそしてモンゴルと、主としてチベット

文化圏において、その活動を展開してきました。

修復活動を通じて失われつつある伝統建築の技法を復興し、若い技術者の育成に力を入れるとともに、歴史的建築物の体系的な記録にも取り組んでいます。また、各事業の実施にあたっては、現地の政府機関や住民との協力、時には大学研究機関や関連分野の専門家と連携して、多角参加による文化遺産の有効な保護と利用、歴史ある街の持続的発展に貢献しています。

## THFの活動内容

- ◆ 歴史地区の復興活動と歴史的建築物の修復
- ◆ 伝統建築技法に関する職業訓練
- ◆ 壁画の修復および保存
- ◆ 歴史的建築物の測量および記録
- ◆ 歴史地区と建築物に関する上下水道の整備および衛生設備の改善
- ◆ 実地修復活動に関するインターンシップ、ボランティアの受け入れ
- ◆ 建築文化遺産に関する研究と国際/地域交流

## THFの発足と活動理念

THFは、1996年にチベットの古都ラサにて発足しました。90年代の初頭より顕著になったラサの再開発の波により、歴史ある建物が次々に取り壊されました。住み慣れた街から追われる人々、次々に異質な建物が建ち上がるラサの旧市街、歴史ある街からは、生活の息吹と街の記憶がどんどん失われてゆきました。古びてはいても、そこで暮らす人々の思い出がつまった家や街角を、どうにかして守

れないものか?こんな思いを抱いた有志たちの集いが、THF発足の礎となったのです。

老朽化した建物には、構造的な問題もありましたが、美しい格子窓や壁画で飾られた部屋、味わいある石造りの外壁、そして何よりも人の生活の息吹が漂う空間は、確かに“活きた建物”でした。そこでTHFは、“建物を治す医者”として、建物の治療、つまり修復活動を始めたのです。土、石、木材などの自然の素材で造られた建物は、壊れた部材を取り替えて

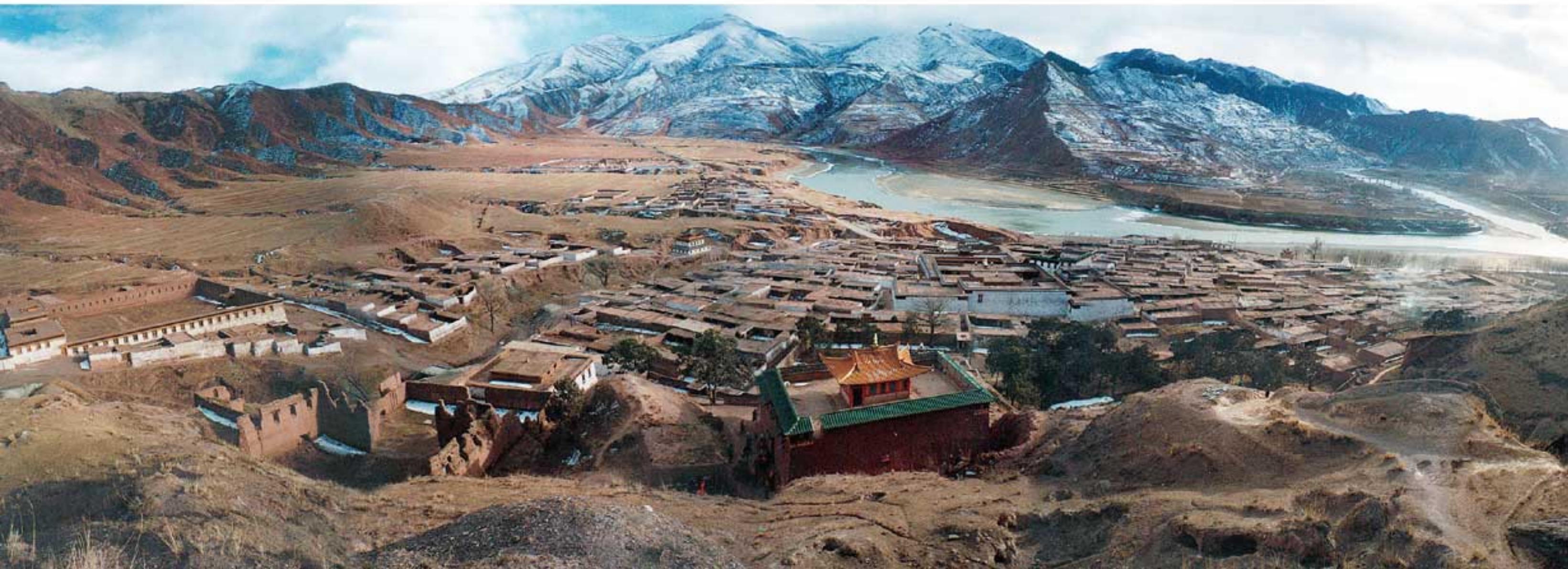
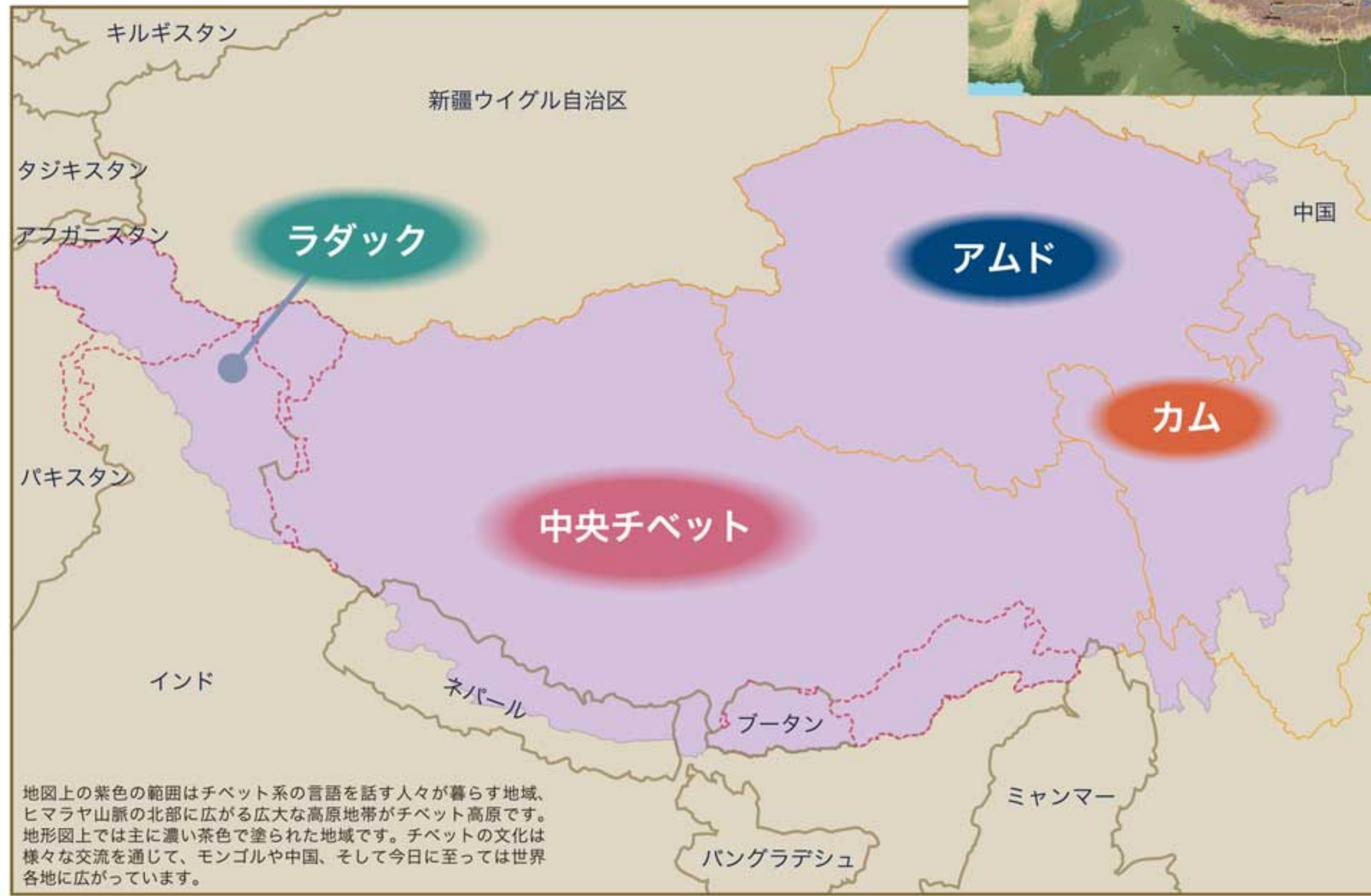
修復することが可能です。しかしそのためには伝統工法を知るチベットの職人衆の力が必要でした。修復の現場には、力を合わせて“治す”愉しさが生まれ、再生した建物には、そこで暮らし続ける人々の喜びがあふれました。歴史ある建物を人々と“治して”使い続けること、そして人々と共に新たな記憶を刻んでゆくこと、こういう流れがチベットの建築文化を継承するものであるとの理念を掲げ、THFの活動を続けてきました。

# チベット文化圏

— Tibetan Cultural Realm —

世界の屋根と呼ばれるチベット高原、平均海拔4000メートルを超えるその広大な大地においても人々は環境に適した生活を育み、そして独自の文化を築いてきました。7世紀に仏教が伝来すると、チベット固有の文化と融合を経てチベット仏教が開花し、チベットの文化は著しく発展しました。宗教や技術、経済の交流は、人の流れ、物の流れとなり、南はヒマラヤ山脈を越え、北はモンゴル、西はラダック、そして東は時に中国北京にもおよびました。この広大な地域

にわたる交流のダイナミズムは、20世紀初頭に敷かれた国境線により途絶え、交流の要所として栄えた地域が、一転して辺境の地となりました。また、多くの歴史的な建物や居住区が破棄され、伝統技術も衰退していきました。しかしながら、消えゆくある歴史の遺構や伝統技術を生かして、その建築文化を継承すること、そしてそこに暮らす人々の生活環境を向上させること、および、この国際化する社会の中で、うまくバランスをとりながら地域の発展を促してゆくこと、といった課題の解決にTHFは貢献したいと考えます。チベット文化圏にて歴史的建築物のあるところ、すなわちTHFの活動場所なのです。

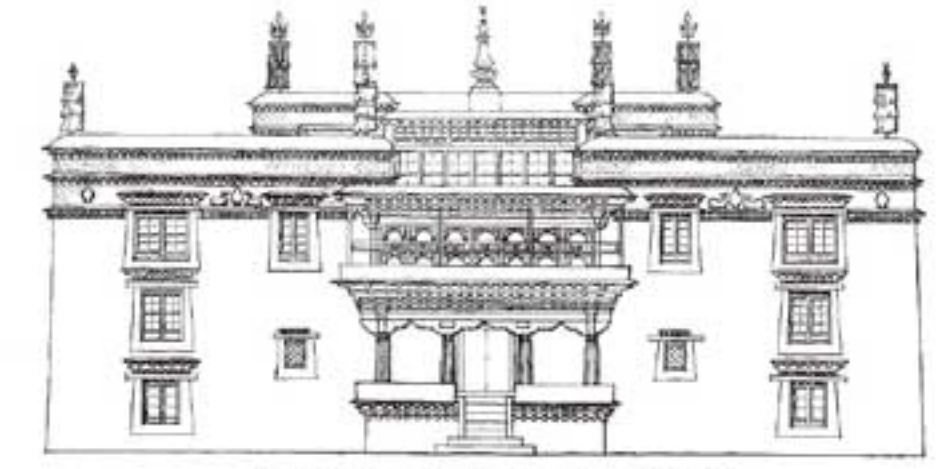


## チベット建築あれこれ

### 中央チベット ラサ

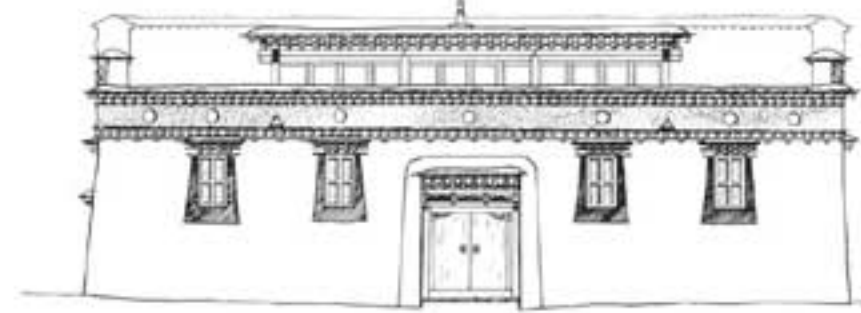


ロンドラ部・ラサ 19世紀

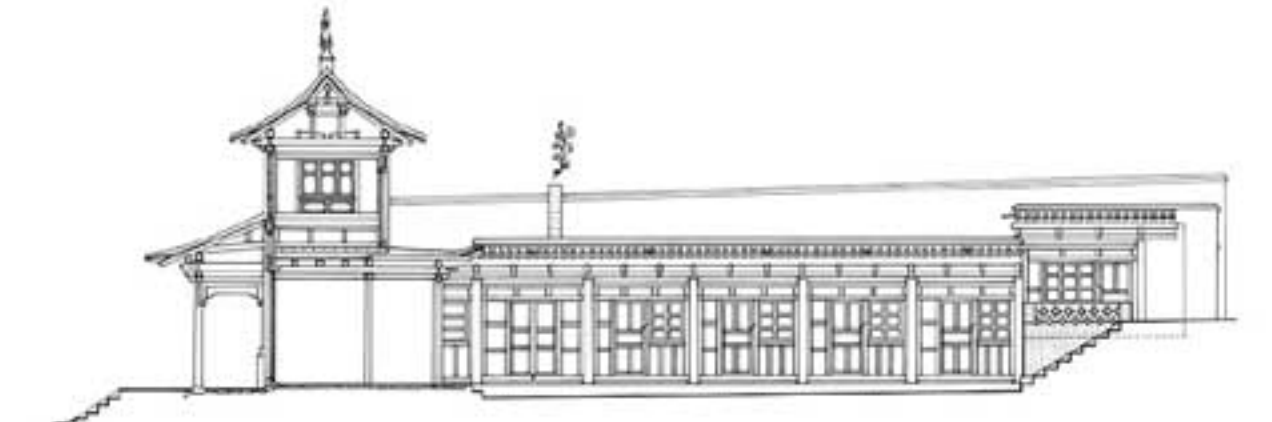


ムルニンバ寺・ラサ 9~19世紀

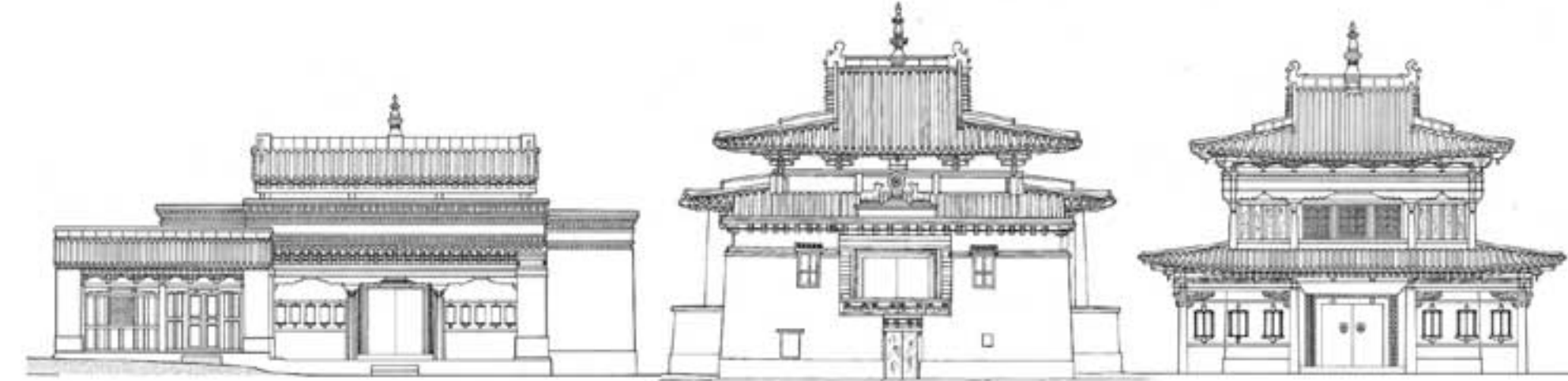
### 東北チベット アムド



ラギャ僧院ジョカン堂・ゴロク 18世紀



ドリツァン紅教寺・貴徳県 19世紀



セルカン寺院・尖扎県 14~18世紀



貴徳世界平和塔・貴徳県 21世紀

### 東チベット カム



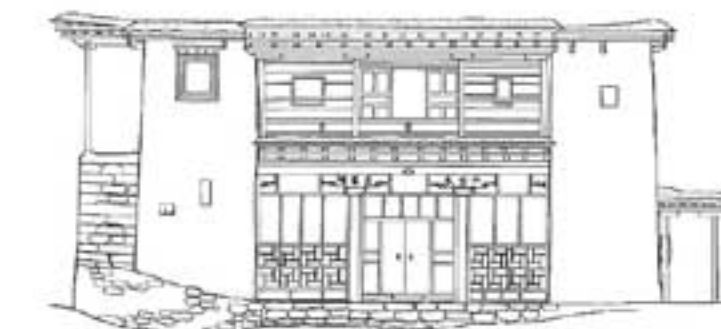
ギャツォンツァン邸・ジェクンド 19世紀



リンガ寺・ギャルトン 17世紀

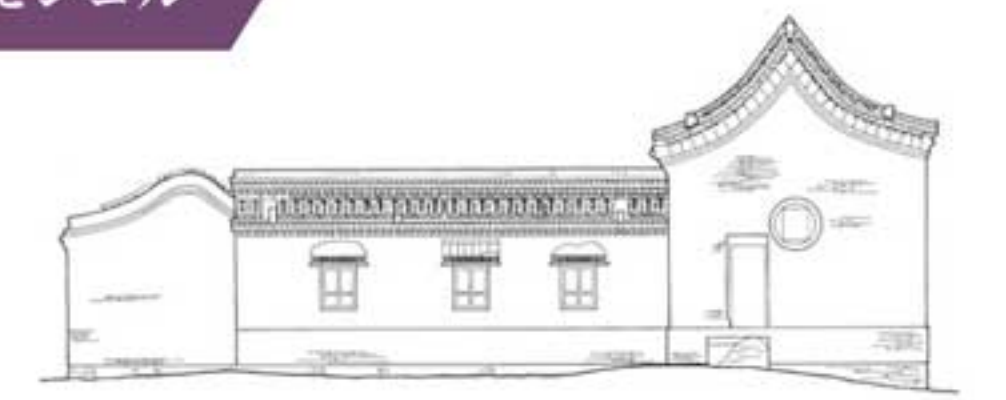


丹寧寺・マルカム 時期不明



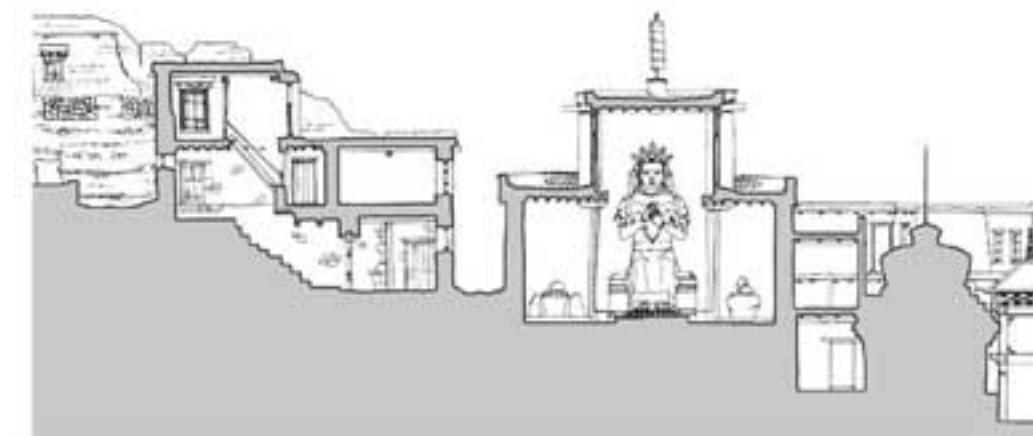
ユンドロリン寺・ガンゼ 18世紀

### モンゴル

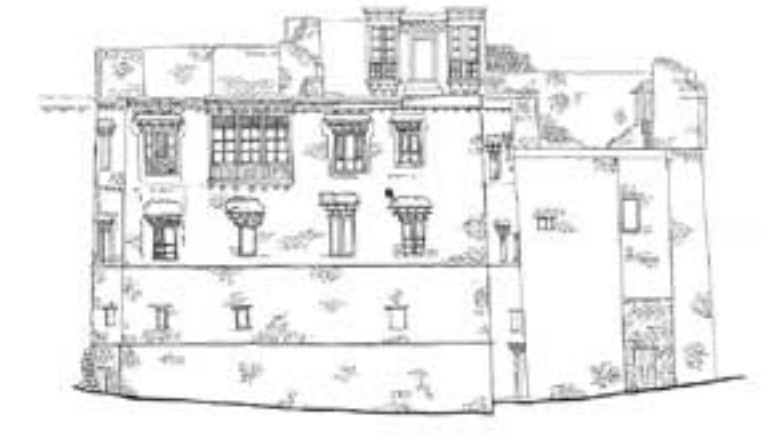


センゲンダライ寺院・ノムゴン 18世紀

### ラダック



白弥勒菩薩殿とレーの民家・レー 15~20世紀



ジャンガラ部・レー 19世紀

## 建物を 知ること、 記録すること

## 歴史ある街並、 景観の保存

## 人の手で なおす、つくる

## 快適な 住環境を

## 壁画を修復、 保存する

## 自然素材を つかう

### 建物の修復の仕事とは

建物とは、その時代の人々によって必要とされた空間の創造の産物であり、どのように、またどれほど継続的に利用されてきたかが、その建物の歴史的な価値となります。もちろん時代の移り変わりに伴い、消え逝くもの、継承されるもの、再生するもの、その運命は様々です。修復の仕事とは、古くなり継続して使用、保存するのが難しくなった建物を直して、復元することです。もちろん、

どこをどういう方法でどの程度直すのかは、建物の歴史的価値や使用方法によって、それぞれに違います。

数百年、時には千年の時を超えた建物を直すということは、当時の職人が手がけたものに時空を超えて向き合うということです。現在は科学技術が発展して、様々な方法が修復の仕事にも応用されていますが、やはり匠の腕を持つ職人が、実際の修復作業には欠かせませ

ん。そのためにも、各種伝統技術の継承は必要不可欠です。

また、その地域の歴史的背景や文化的要素、自然環境を理解することも大切です。歴史的建築物は特に地域や時代の特色が強く表現されているものです。多種多様な知識をもって、適切な修復の計画をたてること、そして何より修復に関わる人々の心をまとめることが、よりよい仕事につながるのです。

### 建物を 知ること、 記録すること

医者が患者を診るように、修復の仕事も建物の現状を知ることが第一歩です。そのためには、まず建物の測量をして図面に起こします。これは建物の大きさを把握し、どんな材料で、どのように組み立てられているのか、といった構造を理解するのに欠かせません。また、壊れた箇所を記録し、どんな段取りで直すのか、修復の計画を立てる際に役立ちます。その上で、修復計画に基づいて、各種材料の見積もりや、人材の選出、工事期間などを盛り込んだ修復事業の予算を組みます。

実際の工事が始まってからも、建物の観察は続きます。工事の手順は、写真や映像で記録し、取り替えた部材や改良した箇所なども図面に記入して、将来の修復工事のための参考資料とするのです。



言わば、治療の記録である“カルテ”をつくるのです。

これらの記録を、出版物として公開

し、建物の歴史、その素材や技術など、歴史的建築物の修復に関する知識を共有することも、THFの活動の一環です。



### 人の手で なおす、つくる

多くの歴史的建築物は、人の手でつくられました。それらを直すのも、やはり人の手で行います。科学技術が発展した現代において、伝統の工芸や技術は消失の危機にさらされていますが、実は現在の科学技術が昔の技術と知恵に及ばないことも多々あります。特に自然の活きた素材でつくる建物は、機械的な正確さよりも、個々の素材の癖や特色を上手く活用できる丁寧な手作業が必要です。ものを生み出せる素敵な手をもつ人たち、つまり職人さんの力が修復の現場には欠かせません。

チベット建築の職人には、大工、石工、左官や金工・鍛冶屋のほかに、壁画や仏像をつくるラゾ、アルガという屋根や床の工事を行うシェブン、型枠に土を突き固めてつくる土壁の職人ギャンプンなどがいます。そして職人衆をまとめて

工事全体を取り仕切るのが、チモという称号で呼ばれる棟梁です。建物は多様な技術をもった職人が力を合わせることで、初めて形になります。また組織としての力を十分に発揮させる棟梁の手腕も大切です。たくさんの力をまとめて大きな仕事をする、そんなチベットの職人衆の心意気は、その技術とともに継承に値するものです。

THFは修復活動を通じて、職人衆が腕をふるえる場を提供するとともに、若い技術者の育成にも力を入れています。技術は人から人へ受け継がれてこそ、大きな力となることを信じているからです。これまでの活動を通じて、THFはおよそ500人の職人たちと修復事業をおこなってきました。伝統的な建築技術が絶えぬよう、チベット文化圏の各地にて新たな芽生えのための種まきをすることも大切だからです。

## 壁画を修復、保存する

チベット建築の内装は、しばしば柱や梁、または壁面への装飾や彩色という形で現れます。民家においては居間や仏間などの生活の中心となる部屋が、寺院、宮殿や石窟においては室内が埋め尽くされるほどに、見事な壁画でおおわれています。そのモチーフは多種多様で、チベットの宗教、歴史、神話、民話、地理、生活、世界観などを巡る内容が、吉祥模様とともに描かれており、まさにチベット文化の博物館さながらです。壁画

は、その描かれた時代や地域によってそれぞれに特色があり、また異なる宗派や画派によっても、そのスタイルや色合いに違いが見られます。肖像学や比較研究により、より深くその内容を知ることができます。ときには千年の時を経た壁画も現存するため、その芸術的価値のみならず、歴史的な価値をも有する文化遺産といえるでしょう。

壁画は文字通り“壁に描かれた画”であり、建物の構造である壁と一体になっています。壊れた壁に壁画があることも多々あり、壁画を直すことは修復工事の

重要な一部です。壁画を直す専門の技術者と協力して、多方面から観察と分析をおこないつつ、修復の計画をたてるのが大切です。ときにはサンプリングした顔料を分析して、同じ成分の顔料を修復の際に使ったり、相対湿度を計測したりと、科学的な知識の動員も欠かせない、地道な準備が必要な仕事でもあります。

THFは壁画修復の技術者を招聘して、専門的な壁画の修復作業をおこなうとともに、現地の修復人員を育成することにも力を入れています。海外からの技術者は、壁画の修復方法を実地で指導し、専門的な知識を教えます。一方、現地の修復人員は、壁画の内容や肖像についての知識を生かして、復元画などを作成します。このような相互協力による壁画の修復作業は、真の国際的な技術交流であると言えるでしょう。



## 自然素材をつかう

チベットの広大な大地には山河が連なり、溪谷が走り、草原や荒野が広がるなど、様々な自然環境が存在します。人々は地域で入手できる材料を上手に使って、それぞれに特色があり、周辺環境に適した建物を建ててきました。石材の豊富な土地では、石壁の堅固な建物を、森の広がる土地では、木材をふんだんに使った優美な建物を、土と礫の大地においても、土壁の味わいある建物を建て、生活の空間として利用してきたのです。過酷な自然環境にも関わらず、数百年もの時を超えて未だに現役の建物は、そこに生活する人々の優れた技術と知恵の証でもあります。

自然から直に手に入れた素材は、再生可能な材料であり、メンテナンスも容易におこなえます。また、廃棄した際にも害なく自然に戻り、周辺環境を汚染することもありません。地元の素材や人材を地域で生かして使う地産地消の発想は、運搬にかかるコストやエネルギーの軽減、また、地域の生産者や技術者の経済収益にもつながります。つまり、より良い再循環が自然と人にやさしいエコな環境を生むのです。ほんの一昔前までは、当たり前であったことが、今失われつつあります。THFは持続可能な建物を、地域の素材と人材で直し、つくり続けてゆきたいと考えます。

## 快適な住環境を

人々の暮らしの集まる場所、つまり街や集落には様々なインフラが必要となります。ことに、インフラ整備の遅れた旧市街地では、近年の生活習慣の変化に応じて、それに合った各種インフラの導入が急務でもあります。

THFは歴史ある街や集落に、より住み

良い住環境をもたらすために、上下水道の整備、道路の石畳による舗装、街灯の取り付け等、基本的なインフラの整備にも力をいれています。また、設備のメンテナンスや衛生管理に関する教育をおこない、住民と共に住環境の維持、改善に努めています。住民に、住み良い街に住み続けてもらうこと、それこそが歴史ある街の持続的発展につながるからです。



## 歴史ある街並、景観の保存

歴史ある街並というものは、それぞれに特有な個性と空間的な秩序があるものです。それらは、建物の素材や様式の統一感であったり、連続性のある路地の配置や、建造物の高さの関係がもつリズム感であったり、ときには突出したランドマーク的な建物やモニュメントが、街の景観の一部として自然ととけ込む全体性であったりします。歴史ある街並は、時を重ねたその街の変化の延長線上にあるものですが、全体的に不思議と調和のとれたものとなっているのは、昔の人々にも都市計画の概念が息づいていた証かもしれません。

街並や景観を保存するということは、そこに暮らす人々の生活の記憶をのこし

てゆくということにもつながります。人は街のふとした空間で、関連する何かを思い出したり、街角のちょっとした特徴から、何かの記憶が蘇ったりするものです。もちろん街は時代ごとに変化してゆくものであり、完全な保存はありえませんが、それぞれの街の全体的な特色は、人々の記憶の延長線上にあるべきだとTHFは考えます。

そこでTHFは、単体の建物だけでなく、街全体のバランスのとれた景観設計も提案しています。街の個性、地区の特徴を生かして、歴史的街並の空間美を保存してゆこうという考えです。建物の顔であるファサードの特徴維持、建築素材の選定、高さ制限は、街の立面を整えます。建物の間をつなぐ路地や通りの特徴、広場や緑地帯の空間の維持は、街の平面の連続性を保ちます。古木や歴史的

モニュメントも、街のアクセントとして必要です。また、新たに建てられる建物について、周囲の環境に調和するデザインを提案することも大切です。歴史的街並の全体的なイメージを保存するマスタープランの提案も、THFの得意とするところです。



# THFの活動支援のお願い



1996年THFの発足以来、世界各地の支援者に支えられつつ、各種事業を展開してきました。THFの活動の軌跡は、修復された建物、もしくは活動に参加した人々の記憶として、チベット文化圏各地に着実に刻印されてきました。しかし広大なチベット文化圏には、まだまだ多くの歴史的な建物や居住区があり、中には消失の危機にさらされ、“緊急治療”を必要としているものもあります。特に近年の経済成長にともない、地域の再開発や再建事業のもと、人為的に取り壊される

建築遺産が後を絶ちません。数百年、ときには千年を超える歴史的な建築物が、まさに今私たちの目の前で消失している現実があるのです。THFは歴史的建築物を“治す”活動を通じて、人類共有の文化遺産を将来に遺してゆくことが、人々を啓蒙する一番の“薬”であると確信しています。今後とも、地域の人々、職人衆とともに意義ある活動を続けてゆくためには、多くの人々の理解と支援が必要です。

THFは、活動に賛同してくださる団体

や個人の皆様からの支援金、寄付金により運営されています。これまでは、主に事業単位ごとに活動資金を募ってききましたが、より多くの皆様が手軽に活動支援に参加できますよう、このたびTHF賛同会員のご案内をいたしております。詳しくは、募集要項をご参照ください。

なお、事業単位での支援をご希望の方は、担当者までメールにてご連絡ください。折り返し、資金募集中の事業の概要をお知らせいたします。

## 支援方法について

チベットヘリテイジファンド(THF)では日本においても、より多くの皆様に活動支援をいただけるよう『チベットヘリテイジファンド(THF)支援の会』を設立いたしました。チベットの文化の愛好者、建築文化遺産の保護・保存に関心を抱く個人・団体の皆様どなたでもご入会いただけます。

支援会員の皆様には、年会費として10,000円(壹万円)をご納入いただきます。会員費は、THFの活動資金の一部としてヒマラヤおよびチベット高原の文化遺産保護・保存事業に活用されます。

全ての支援会員の皆様に、THFのニュースレターおよび年間活動報告書(電子・英語版)を配信いたします。また、THFの日本における講演会、展示会や各種活動のお知らせ、及び出版物のご案内をメールにて通知いたします。

また、支援会員の皆様は、任意にて一口10,000円よりTHFの活動に寄付金を寄贈することができます。十口以上の寄付金寄贈者の個人・団体様は、ご希望の事業を指定していただけます。

事業単位にての支援をご希望の方は、別途にて事業別資金募集リストを配信いたします。まず、ご希望の事業をリストより選択していただいた上、THFの事業

運営担当者に直接ご連絡下さい。随時、ご希望の支援事業の詳細についてご説明いたします。なお、事業単位にてご支援いただいた方には、必要に応じて事業報告書および会計報告書を作成し提供いたします。

入会希望の方は、下記の支援会員申込表に必要事項を記入の上、担当者まで郵便もしくはメールにてご連絡ください。入会の旨を確認の上、年会費を下記の郵便口座にお振込願います。入金確認後、担当者よりメールにて支援会員の会員番号をお知らせいたします。ご意見・ご不明な点などございましたら、担当者までお知らせください。

## 「チベットヘリテイジファンド(THF)支援の会」

金融機関名	ゆうちょ銀行
支店名	〇三八支店
種別	普通
口座番号	4060349
口座名義人	チベットヘリテイジファンド(THF)支援の会
※ゆうちょ銀行からは10380-40603491までお願い致します。	

本部 〒345-0035 埼玉県北葛飾郡杉戸町内田2-6-12  
 代表・THF事業運営責任者兼任 平子 豊 pingzifeng@hotmail.com  
 副代表・THF支援の会日本事務局連絡担当 高橋 伶 rerekopanda@yahoo.co.jp

## チベットヘリテイジファンド(THF)支援会員申込表

フリガナ			
【個人会員様】ご芳名	姓	名	
フリガナ			
【団体会員様】団体名			
ご住所	〒	都道府県	市区町村
電話番号	( )	携帯番号	-
メールアドレス			



©Pimpim de Azevedo

文責： 平子 豊  
文章校正： 多田 麻美  
表紙デザイン：大隈 健  
レイアウト： 大久保 明菜



[www.tibetheritagefund.org](http://www.tibetheritagefund.org)  
[info@tibetheritagefund.org](mailto:info@tibetheritagefund.org)

発行元：「チベット ヘリテイジ ファンド (THF) 支援の会」 〒345-0035 埼玉県北葛飾郡杉戸町内田 2-6-12  
本書の無断転写（コピー）は著作権上での例外を除き、禁じられています。